

登録コード	E7140200	開講年度	2026			
授業科目	I C T活用教育基礎演習				担当教員	森下 孟
英文授業名	Basic Seminar for ICT Use in Education I				副担当	谷塚 光典
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限	対象学生
講義室	教育学びセンター 201		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	事例ビデオを視聴してのICTを活用した指導法についての分析, デジタル教科書・教材の内容と機能の分析, 事例集の分析を行って, 現状を理解する。さらに, 授業を見学して録画したビデオ, または, 提供された録画ビデオを編集して, 実践解説書を作成する活動を通して, ICT活用指導力を向上させる。					
(5)授業計画	第 1 回: ガイダンス 第 2 回: 『教育の情報化に関する手引』の背景 第 3 回: 情報化の進展と教育の情報化 第 4 回: 学習指導要領における教育の情報化 第 5 回: 教科指導におけるICT活用 第 6 回: 情報教育の体系的な推進 第 7 回: 学校における情報モラル教育と家庭・地域との連携 第 8 回: 校務の情報化の推進 第 9 回: 教員のICT活用指導力の向上 第10回: 学校におけるICT環境整備 第11回: 特別支援教育における教育の情報化 第12回: 教育委員会・学校における情報化の推進体制 第13回: 教科指導におけるICT活用の実際(小学校) 第14回: 教科指導におけるICT活用の実際(中学校) 定期試験					
(6)成績評価の方法	・ 各回の授業内容に関する課題(50%), ICT活用教育に関する専門的知識・技能に関する確認試験(50%)。ただし, 評価割合は若干の調整を行うことがある。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	「卓越している」 : ICT活用教育の実践事例の分析が, 本授業での学習内容を多面的・総合的に取り入れていてさらに独自に調査した内容を極めて効果的に加えていて卓越している。また, 授業中の討論及びeALPS上のフォーラムでは, ディスカッションに積極的に参加して他の学生の意見を引き出しつつまとめ役をしている。 「かなり上である」 : ICT活用教育の実践事例の分析が, 本授業での学習内容を多面的に取り入れていてさらに独自に調査した内容を効果的に加えていてかなり上である。また, 授業中の討論及びeALPS上のフォーラムでは, ディスカッションに積極的に参加しつつ他の学生の意見を引き出している。 「やや上にある」 : ICT活用教育の実践事例の分析が, 本授業での学習内容を取り入れていてさらに独自に調査した内容を加えていてやや上にある。また, 授業中の討論及びeALPS上のフォーラムでは, ディスカッションに積極的に参加している。 「水準にある」 : ICT活用教育の実践事例の分析が, 本授業での学習内容を取り入れていて水準にある。また, 授業中の討論及びeALPS上のフォーラムでは, ディスカッションに参加している。					
(8)事前事後学習の内容	・ 事前事後学習のために, e-Learningシステム(eALPS)を活用して授業を展開していく。 ・ 事前学習としては, eALPSにアップロードしてある各回の授業での配布物を事前にダウンロードしたり, eALPSに掲載してある関連URLからWebサイトを閲覧したりすることによって, 問題意識を明確にしたうえで授業に参画する。 ・ 事後学習としては, 各回の授業で学んだこと・疑問に思ったこと・疑問に思ったことについて調査してわかったことなどをeALPSに記入し, 学生間で共有する。					
(9)履修上の注意	・ 授業の前後に必ずeALPSの当該コースにアクセスして事前事後学習に努めること。 ・ 各回の授業後にeALPSのフォーラムで意見交換をすること。 ・ 当該科目を履修するにあたって必要となる経費(参加費・交通費・食費・文房具代・保険料等)は学生の自己負担とする。					
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	・ 附属次世代型学び研究開発センター2F 森下研究室 E-mail: morisita@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー: (前期)メール予約で随時対応 (後期)メール予約で随時対応					
【教科書】	・ 稲垣忠編著『教育の方法と技術 Ver.2: IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』北大路書房, 2022年, 2,200円+税					
【参考文献】	・ 文部科学省Webサイト「教育の情報化の推進」					

【参考文献】	(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/index.htm) ・その他，授業の中で適宜紹介する。
--------	--